2026 NOV. 7 SAT 8 SUN

11月7日㊏ 8日㊐

雨天決行

11:00～20:00　11:00～20:00

袋町公園 広島市中区袋町9

11月7日（土）
11:00～ 屋台開始
15:00～ 大いのこ
18:30～ 表祝祭
　音曲奉納
　祝宴
20:00～ 大石おろし

11月8日（日）
11:00～ 屋台開始
13:00～ 大いのこ
17:40～ お練り
18:00～ 裏祝祭
　餅まき
　大亥の子つき
　綱切
19:20～ 大石送り

大いのこ祭

OOINOKO MATSURI

家内安全 KANAI ANZEN

子孫繁栄 SHISON HAN EI

五穀豊穣 GOKOKU HOJO

無病息災 MUBYO SOKUSAI

商売繁盛 SHOBAI HANJO

大いのこ屋台は、2日間だけの美味しいもの満載！

大いのこ祭、こどももおとなも大歓迎です！

石動の夜、大石をつく音が、大地に鳴り響く

ISURUGI NO YORU

いのこいのこいのこ餅ついて 繁盛せえ 繁盛せえ

亥の子祭は、亥の月（旧暦10月・現代の11月頃）、亥の日、亥の刻に、亥の子餅を食べて、無病息災を祈る神事として、平安時代の宮中で行われたのが始まりといわれています。諸説ありますが、中国から伝わり、平安時代の宮中で行われ、やがて貴族や武士にも広がっていきました。紫式部による『源氏物語』にも亥の子餅が登場しています。ちょうど収穫の時期と重なることから、五穀豊穣を祝う行事としても民間に定着していきました。亥は陰陽五行説では「水」にあたり火に勝つことから、亥の日は火災を逃れる縁起の良い日とされ、炉開きやこたつ開きを行ってきました。江戸時代の広島では、大火が三度も起こり、町ぐるみで火の用心に取り組み、いのこ祭も年中行事として定着していったとか。もちろん、多産のイノシシにあやかって子孫繁栄を祈る意味も込められ現在では、主に西日本を中心に行われています。

大いのこ祭を支える市民の会

HP：http://www.cetra.jp/ooinoko/index.html

mail：ooinoko@cetra.co.jp

後援：広島市・広島市教育委員会・
中国新聞社・NHK広島放送局・
中国放送・広島テレビ・
テレビ新広島・広島ホームテレビ・
広島エフエム放送・FMちゅーピー76.6・[illegible]
協力：中町町内会・袋町1区町内会・[illegible]
[illegible]

大いのこ祭特設ページ
（株式会社ジョルテ）